



### CONTENTS

YIA Event Calendar	2
JICA 通信「帰国隊員紹介」	4
Voice from Yamanashi, Medidas de Segurança	5
Programação de eventos, Cozinha Internacional, etc.	6
Emergency Response Procedures part 1	
& Voice from Yamanashi	7
Voice from Yamanashi (タイ料理「ロータス」代表 青山ジェニー)	8
Cooking @ Home カナダ家庭料理「シェパード・パイ」	
Information	9
YIA Event Calendar	10

4月30日に実施した 東日本大震災復興チャリティ・イベント「がんばろう日本 from やまなし」には、県民、外国人住民、県内に避難されている方々を含め、234名の皆さまにお越しいただきました。  
 入場料、ワールド・グルメ、募金箱等、収益金の総額は、402,835円となり、全額「日本赤十字社」へ寄付させていただきました。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。  
 被災地の皆さまが一日も早く以前の生活に戻れますよう、心よりお祈り申し上げます。

O evento beneficente "Gambarou Nippon From Yamanashi", realizado no dia 30 de abril contou com a presença de 234 pessoas, incluindo refugiados da região leste do país, atingida pelo terremoto. Foi arrecadado um total de 402.835 ienes, quantia doada a "Cruz Vermelha do Japão".  
 Agradecemos a colaboração de todos. Rezamos para que as pessoas que estão na região atingida possam voltar a sua vida normal o mais breve possível.

On April 30th, 234 people came at the International Center for the Charity Event "Gambarou Nippon from Yamanashi". Locals and foreign citizens of the Prefecture got together with the refugees hosted in Yamanashi, for the recovery from the Great East Japan Earthquake. The entire 402,835 yen raised during the day through entrance fees, world gourmet foods, a charity box, etc. will be donated to the Japanese Red Cross. We would like to thank everybody who contributed, and to express again our thoughts for the people in the affected regions, hoping for a quick return to normality.

6  
JUN

## 日本語講座・市川三郷教室 (全 30 回) NEW!

多文化共生を考える会「ハート 51」との共催により、市川三郷町で日本語講座を開講します。(無料)

## JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト (～9月まで)

全国の中学生・高校生を対象にしたエッセイコンテストで、開発途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、国際社会の中で日本は何をすべきか、また自分たちひとりひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことが目的で毎年開催しています。

## 市町村国際交流協会等連絡会 (6月・2月/年2回)

当協会及び市町村等国際交流協会の事業紹介をはじめ、多くの協会が抱える課題等について意見交換会を行う連絡会を開催します。

## 国際サロン「English お茶会 in WONDERLAND II」 6/18 (土) 13:00-16:30

英語でのごは遊びゲームを楽しみましょう。英語上達には絶好の機会! ゲームのレベルはさまざまなので、中学生から大人まで楽しめます。ゲームの後は、お茶やお菓子を味わいながら交流を深めましょう。

## International Salon " English Tea Party in WONDERLAND II " 6/18 (Sat.) 13:00-16:30

Let's play English language games together! This is a wonderful opportunity to practice and improve your English language skills. All levels are welcome, so everyone can enjoy. At the end of the day, everybody will deepen friendships while enjoying cookies and tea!

7  
JULY

## 夏期限定 外国語講座「TOEIC 基礎力アップ講座」(～8月 全火曜日7回、19:00～20:30 定員:15人)

毎年好評をいただいている TOEIC 講座。今回は、TOEIC スコア 500 点～600 点台を目指している方を対象に開講します。

## 「外国人住民の実態調査 アンケート実施」(～8月) NEW!

多文化共生社会づくりを推進するため、外国人住民の要望や課題等、アンケート調査を実施します。

8  
AUG

## アイオワ州との姉妹県州締結 50 周年記念事業「山梨・アイオワ青少年育成事業」(仮称) NEW!

平成 23 年度は、アイオワ州にとって山梨県との締結 50 周年の記念すべき年。本県の高校生 30 名の友好訪問団を派遣し、同州で開催される記念式典への参加を通じ、同州との友好関係を深めるとともに、参加者の国際理解を深める機会とします。

## 災害時通訳ボランティアセミナー & 県内在住外国人のための防災訓練

災害発生時に、外国人住民が必要な情報を得られるよう支援する通訳ボランティアの人材を育成するため、その現状やボランティアの心構え、通訳の基礎知識を学ぶセミナーを開催します。また、市町村等と連携し、外国人住民を対象に、地震や火災など緊急時の対応について研修等を実施します。

9  
SEP

## 外国語講座 開講 (～2月)

英語、スペイン語、イタリア語、フランス語等の講座を開講予定です。

## Foreign Language Courses

Weekly language classes offered at the International Centre. Available in English, Spanish, Italian and French.

## 外国文化講座 開講 (～2月)

さまざまな国の芸術、音楽、料理、生活などを紹介し、異文化理解を深める講座です。

10  
OCT

## 国際サロン「日独交流 150 周年記念事業」 10月1日(土) NEW!

日独交流 150 周年を記念して、「ドイツ」をテーマとしたイベントを開催します。ドイツ大使による基調講演、ドイツ料理ブース、ドイツカルチャー体験や子どもコーナー等、さまざまな角度から丸ごとドイツを紹介します。

## International Salon " 150th Anniversary of Japan-Germany Relations" 10/1 (Sat)

In commemoration of 150 years of the Japan-Germany relationship, the International Salon features a series of programs including a lecture by German Ambassador to Japan, a German food corner, a German tradition exploring corner and a children corner.

## 国際サロン「ハロウィン・パーティー」 10月29日(土)

世界中の子ども達を楽しみにしているハロウィン。仮装コンテスト、ゲーム、クラフト等を通して、本場のハロウィンを楽しみましょう。  
対象:幼稚園～小学生

## JICA ボランティア募集! (～11月中旬)

青年海外協力隊(20～39歳)とシニア海外ボランティア(40～69歳)の募集をします。ご自身の技術や経験を海外で生かしてみませんか?

## JICA ボランティア体験談&説明会

青年海外協力隊とシニア海外ボランティアの募集説明会&体験談を行います。山梨県出身のOB/OGの方の体験談もあります。



平成23年度 財団法人山梨県国際交流協会の主な事業をご紹介します。  
世界の国々の文化や風習を楽しみながら学ぶイベントや講座、カンボジアの復興地域の人々との交流を図るスタディ・ツアー、多文化が共生できる社会をめざして、日本語教室、災害避難所体験、ガイドブックの作成等、盛りだくさんの内容で皆さまにお届けしていきます。

11  
Nov

### 県民の日「国際フェスタ2011」11月19日(土)、20日(日) 小瀬スポーツ公園

県内で活躍する外国人住民と共に、さまざまな国の食文化、音楽、パフォーマンス等を広く一般県民に紹介。  
また、JICA、民間国際交流・国際協力団体等活動紹介の場を設け、異文化やNGO活動に対する理解を深めるイベントを開催します。

#### 外国人相談の日

県弁護士会、行政書士と共催し、さまざまな相談に無料で応じます。

#### Free Consultation for Foreigners

The prefectural lawyers association and other administrative bodies will be available for consultation sessions on all sorts of issues.

#### カンボジア・スタディ・ツアー

NEW!

平成22年度に実施した「カンボジアにおける地雷除去と復興地域の人々との交流事業」の成果を踏まえ、更なる人的交流の促進と国際協力・国際貢献に対する認識を一層深めるため、カンボジアへの「スタディ・ツアー」を実施します。

12  
Dec

### ワールド・チャリティー・クリスマス 12月10日(土)

チャリティーを目的として、世界のさまざまな音楽や民族舞踊の発表、外国料理の紹介などを行うクリスマスイベントを開催します。  
その収益を国際協力団体等に寄付します。

#### World Charity Christmas 12/10(Sat.)

Every year, many local volunteers provide their time and energies in order to bring you the best performances and cuisines.  
By coming to our charity event, you can help us to help others. With your donations, we can offer a warm Christmas to the less fortunate.

1  
Jan

### 山梨インターナショナル・スクールデイ 1月29日(日)

県国際交流員や外国語指導助手等が講師となり、外国の高校の授業形態で、英語による体験学習の機会を提供します。

#### International School Day 1/29(Sun.)

It is time to brush up your English at the Yamanashi International School Day. Four teachers from all around the world are ready to offer you the most innovative and fascinating lessons. So why not come along and join us!

#### 医療通訳ボランティアセミナー

日本語での意思疎通が困難な外国人住民や外国人旅行者のために、医療機関等において通訳を行う「医療通訳」に関するセミナーを開催します。医療現場を想定したロールプレイングを導入し、より実践を重視したセミナーです。

#### 観光ボランティアガイドセミナー(1月~3月)

県内を訪れる外国人観光客に対して、言語サポート及び案内を行うボランティア通訳及び通訳ガイドのスキルアップを図るセミナーを開催します。

#### JICA ボランティア活動報告会&教師海外研修授業実践報告会 1月21日(土)

JICA ボランティアのOB・OGが派遣されていた国の様子や活動の様子など写真やビデオを使って紹介します。同時に、夏休みに行われる教師海外研修の授業実践報告会も行います。

その他

#### 「国際理解講演会」

国連思想の普及と国際交流、国際協力に対する理解促進を図るための講演会を開催します。

#### オープンキャンパス「やまなしYIA国際塾」(秋頃~2月)

世界の現状や課題について理解を深め、グローバルな視野をもった国際人を育成するため、国際関係に携わる様々な人材を講師として招き、開放講座を実施します。

#### 県内在住外国人の暮らしを考える意見交換会

外国人住民に関わるさまざまな生活課題について、外国人住民や行政などの関係機関、雇用側である派遣会社、支援するNGOなどが相互に情報を交換しながら問題解決への糸口を探る意見交換会です。

#### 「多言語版緊急ガイドブック(防災対策版)」作成

NEW!

緊急時に必要な行動や防災関連の情報まとめた、多言語版のガイドブックを作成します。

#### 「国際交流センターの多言語版パンフレット」作成

NEW!

より多くの外国人の方にセンターを利用していただけるよう、多言語版のパンフレットを作成します。

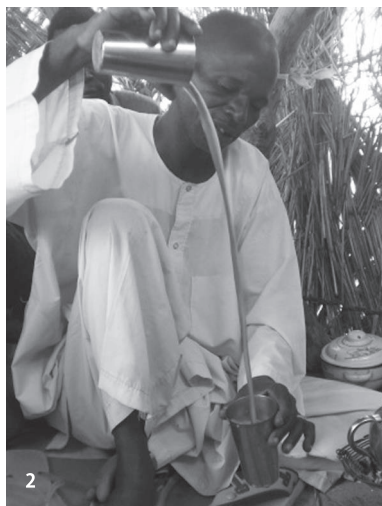
#### 「グローバル支援事業」(通年)

年間を通じて募金や未使用の文具等の収集活動を行い、開発途上国及び海外の被災地等の支援に役立てます。

#### 「山梨県国際交流協会ニュース」掲載!(通年)

山梨日日新聞社が県内の1週間の主なニュースを4カ国語で提供する、「4カ国語版ウイークリーニュース山梨」に「山梨県国際交流協会ニュース」を掲載しています。山梨日日新聞社/毎週火曜日発行 山日テレビガイド中面に掲載。(対象言語:日本語、韓国語、英語、ポルトガル語)

# JICA 通信



- 1 ラクダは移動手段のひとつ
- 2 シャイ（ハウサ語で紅茶）を入れる男性
- 3 同僚の助産師と私
- 4 女性たちはとてもおしゃれ
- 5 買い物は野外市場で 値段交渉するのが楽しい



## 帰国隊員紹介



from ニジェール

みなさんこんにちは！！ JICA 山梨デスク伊藤です。  
このたびの東日本大震災により被害を受けられました皆様に、心より  
お見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

今回は、ニジェール共和国から1月に帰国された新津 茉莉花（まりか）  
さんの活動の様子をご紹介します。

私は2009年1月から2011年1月まで、ニジェール共和国で村落開  
発普及員として活動してきました。

ニジェール共和国は、西アフリカに位置する内陸国。国土の約3分の  
2が砂漠に覆われ、イスラム教徒が数多く住む国です。4月には摂氏50  
度を超えることもあるほど暑く、面積はおよそ日本の3.4倍です。

ニジェール共和国では自分の持っているものを周りの人と分け合うと  
いうことが当たり前の習慣として人々の間に根付いています。町を歩い  
ていると、必ずと言っていいほど、「ごはんを食べていきなさい。」とか、  
「このお茶と一緒に飲みましょう。」と、自分たちの食べ物や飲み物を私  
に勧めてくれる方々がいます。ある時は、乗合タクシーで隣の席になっ  
た見知らずのお姉さんが、自分の食べている一本のバナナを、私のた  
めに半分に分けてまで勧めてくれました。そんな風に周囲の人々への思  
いやりの心をもった人々に囲まれて生活しているうちに、私も自然と自  
分の持っているものを周りの人と分け合えるようになりました。

私は村落開発普及員という職種で、地方都市ザンデル市および首都  
ニアメ市の産科フィスチュラセンターという施設で、出産によって引き  
起こされる産科フィスチュラ（産科ろうこう）という症状の女性たちを  
対象に様々な活動を行いました。私は患者さんである彼女たちが大好き  
で、彼女たちが喜んでくれることが私にとって何よりも嬉しいことでし  
た。私が日本に帰国する日に彼女たちからいただいた手作りのビーズの  
ブレスレットは一生の宝物です。

ニジェール共和国は世界の中でも最貧国の一つとされている国です。  
しかし、私はニジェール共和国で2年間過ごしたことで、人々のもつ思  
いやりの心や忍耐力など、素晴らしい面をこの目で見て、たくさんの方  
のことを学ばせてもらいました。多くの方々にそういったニジェール共和  
国の素敵な面も知っていただけたら嬉しいです。

※現在は、ニジェール共和国は情勢の悪化により JICA ボランティアの  
派遣を中止しています。

● 震災の影響で延期しておりました「JICA ボランティア春募集」につ  
きましては、6月13日まで応募の受付を行っています。

JICA 山梨デスク 伊藤

〒400-0035 甲府市飯田二丁目2-3 (財) 山梨県国際交流協会内  
Tel. 055-228-5419 Fax. 055-228-5473 jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp  
JICA <http://www.jica.go.jp>



ビル一般建物の総合清掃管理 ・ 一般廃棄物、産業廃棄物処理

## 山梨管財株式会社

全業種  
無料で御見積  
いたします。

ISO9001  
認定登録

全国ビルメンテナンス協会員  
山梨県ビルメンテナンス協会員  
山梨県産業廃棄物協会員

甲府市廃棄物事業協同組合員  
クリーンネット笛吹協業組合員

山梨県甲府市和戸町353-24 本社Tel. 055-235-1712(代) 石和支店Tel. 055-263-5165



Nossa convidada desta edição é a Sra. Jenny, uma pessoa sempre sorridente. Durante o rodízio de energia, ajudou a fazer traduções junto com a filha mais velha Naana, e distribuiu informações nos estabelecimentos comerciais frequentados por tailândeses, para quem costuma dar conselhos para viver no Japão.



**Jenny Aoyama**

Nasceu em 1961 na província de Kamphaeng Phet no Reino da Tailândia. Se casou a cerca de 30 anos atrás e veio ao Japão. Em setembro de 2003 inaugurou em Showa-cho o restaurante Tailandês Lótus onde serve comida caseira. Passatempo: Golf, Best soar 42

### Segue a entrevista que nossa convidada Jenny Aoyama respondeu com muita simpatia e bom humor:

NY. Quando desembarcou no Japão a 30 anos atrás, qual foi sua maior dificuldade?

Jenny. O mais difícil foi a língua. Principalmente quando ficava doente. Mas, talvez por este meu jeito extrovertido, nunca sofri preconceito.

NY. Sentiu algum tipo de choque cultural?

Jenny. Fiquei admirada com as boas maneiras dos japoneses. Não se atrasam, não reclamam quando são empurrados para dentro dos trens lotados, acredito que em perseverança eles são os primeiros no mundo.

NY. O que a levou a abrir o restaurante "Lótus", de comida caseira tailândesa?

Jenny. Quando criança aprendi a cozinhar com minha mãe e tomei gosto por cozinhar naturalmente. Adoro ver as pessoas comendo minha comida com gosto. isto me deixa muito feliz.

NY. Devido ao terremoto de 11 de março, a região oeste sofreu grandes perdas, e em Yamanashi também há muitas pessoas refugiadas dessas áreas.

Jenny. Foi a primeira vez que presenciei um desastre assim. Foi um choque ver as cenas do Tsunami na TV. Fiquei muito assustada.

NY. Muitos estrangeiros deixaram o país por causa dos problemas nas usinas nucleares e o medo da radiação. O que se espera do futuro para o Japão

Jenny. Não há dúvidas que a reconstrução vai levar tempo. Mesmo meu restaurante está vazio. Mas acredito que o Japão

Sra. Jenny, uma grande admiradora de Yamanashi, adora a natureza e principalmente o Monte Fuji. Seu sonho, ainda não realizado devido a sua vida corrida, é escalar o monte Fuji. Ela nos passa a importância de vivermos em harmonia, independente de nossa origem e nossas diferenças, ajudando e respeitando ao próximo.

vai superar esta crise. Eu mesma pretendo continuar vivendo no Japão.

NY. Como está sendo anunciado o desastre nos noticiários da TV na Tailândia?

Jenny. As pessoas estão admiradas a organização nos abrigos mesmo depois de um desastre como o do dia 11 de março. A mídia está elogiando a atitude dos japoneses e seu preparo para enfrentar desastres.

NY. gostaríamos de agradecer por sua colaboração no evento beneficente do dia 30 de abril, vendendo comida tailândesa.

Jenny. É um prazer poder colaborar com o evento. Estava pensando o que poderia fazer para ajudar as pessoas que estão refugiadas em Yamanashi quando surgiu esta oportunidade. Os estrangeiros também querem ajudar tanto quanto os japoneses. Estamos todos torcendo para que as coisas melhorem.

NY. Tem voltado a Tailândia?

Jenny. Volto a Tailândia todos os anos para ver meus pais. A Tailândia assim como o Japão é um país budista onde cuidar dos pais é algo normal. No ano novo tailandês, dia 13 de abril, a família se reúne para celebrar a data.

NY. Poderia deixar uma dica para os estrangeiros que vivem em Yamanashi?

Jenny. Um conselho útil não só no Japão, mas em qualquer lugar no mundo, seja responsável. Crie dentro de você a "vontade de viver". Não espere que as pessoas em volta resolvam tudo por você.

\*\*\*\*\*

## Medidas de Segurança: Como se proteger e agir em caso de Terremoto

### ❖ Em Casa

1. Proteja-se embaixo de uma mesa ou escrivaninha resistente, e segure as pernas da mesa. Se possível, cubra a cabeça com uma almofada.
2. Abra uma porta para garantir um rota de fuga. (o terremoto pode danificar a estrutura do prédio e emperrar a porta.
3. Não saia correndo para a rua, destroços podem cair dos prédios. (um terremoto intenso dura cerca de 1 minuto, espere terminar antes de sair )  
 ※ *desligue o fogo e os aquecedores para evitar incêndios*  
 ※ *não tire os sapatos ao entrar em sua residência, pode ter vidro e outros objetos cortantes espalhados no chão*

### ❖ Em Lojas e Supermercados

1. Use bolsas e sacolas para proteger a cabeça.
2. Afaste-se das janelas, vitrines, prateleiras e estantes.
3. Siga as instruções dos atendentes.

### ❖ No Local de Trabalho

(Escritórios, Fábricas e Prédios)

1. Proteja-se embaixo de uma mesa ou escrivaninha resistente, e segure as pernas da mesa.
2. Cuidado com computadores, copiadoras e outras máquinas e equipamentos que podem cair.
3. Siga as orientações recebidas para casos de desastres.

### ❖ No Apartamento ou Danchi

1. Proteja-se embaixo de uma mesa ou escrivaninha resistente, e segure as pernas da mesa. Se possível, cubra a cabeça com uma almofada.
2. Não use elevador para sair do prédio, use a escada de incêndio.

### ❖ Na Rua

1. Use bolsas e sacolas para proteger a cabeça.
2. Refugie-se em locais abertos como praças e estacionamentos.
3. Cuidado com objetos que podem cair como vidro placas e destroços
4. Afaste-se de vitrines e janelas

### ❖ No Carro

1. Ligue o pisca alerta e diminua a velocidade, até que consiga estacionar com segurança. Não freie de repente, pode causar um acidente.
2. Ligue o rádio e acompanhe as notícias.
3. Siga as instruções da polícia.
4. Deixe o carro e siga para um refúgio a pé.
5. Deixe as chaves no contato (pode ser seja necessário mover seu carro em caso de emergência).  
 ※ *durante um terremoto é difícil manter o controle do carro (é como se estar dirigindo um carro com pneu furado)*

### Atenção

- vá a um dos abrigos perto de sua casa.
- fique longe de margens de rios.
- evite ruas estreitas, muros, penhascos e barrancos.
- é perigoso ficar sozinho, procure estar com outras pessoas.
- caso encontre focos de incêndio, grite Kaji (incêndio) peça ajuda e apague o fogo.

**\* Em todos os casos, é muito importante manter a calma.**

## Disque 171

### Serviço de mensagens

Provavelmente se ocorrer um desastre, a comunicação será afetada. Utilize serviços de mensagens gratuitos como o 『Disque 171』, que permite gravar mensagens de até 30 segs. que ficam disponíveis por 48hs. Este serviço é ativado imediatamente após terremotos com mais de 6 graus na escala japonesa.

#### Para gravar mensagem:

**Disque 171 + 1 + nº telefone** e grave sua mensagem (se for telefone c/ dígitos, a mensagem pedirá p/ digitar 1 seguido de #. / Para ouvir a mensagem digite 9 + #. / Regravar 8 + # )

#### Para ouvir uma mensagem:

**Disque 171 + 2 + nº telefone** e ouça a mensagem gravada (se for telefone c/ dígitos, a mensagem pedirá p/ digitar 1 + #. Para ouvir a mensagem novamente digite 8 + #. Gravar resposta 9 + # )

\* para gravar uma mensagem é necessário um número de telefone fixo.  
 \* a mensagem pode ser gravada/ acessada por celular.

**Informações acesse site do Ministério do Interior e Comunicações** [http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsushin/whatsnew/digital-broad](http://www.soumu.go.jp/joho_tsushin/whatsnew/digital-broad)  
**Informações em português:** [http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/dtv/pdf/chideji\\_hayawakari04\\_pr.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/pdf/chideji_hayawakari04_pr.pdf)

**\* Participe de Treinamento para Emergências e Desastres no seu trabalho, ou locais próximos de sua casa. Há alguns treinamentos realizados especialmente para residentes estrangeiros, com a participação de tradutores voluntários.**

### ○ que pode ser feito antes?

1. Saiba onde fica o abrigo oficial mais próximo de sua casa.
2. Combine com sua família onde se encontrar e como entrar em contato caso algum desastre natural aconteça quando estiverem separados (escola, trabalho, etc).
3. Se tiver filhos, informe-se onde as crianças se refugiarão, como ir buscá-las etc. (cada escola

tem seus procedimentos de segurança)

4. Prepare um kit de emergência e provisões.
5. Saiba onde procurar informações confiáveis e atualizadas em sua língua, como sites e telefones (não acredite em informações duvidosas). Compartilhe estas informações com outras pessoas.
6. Procure conhecer pessoas da vizinhança, mesmo não sabendo a língua podem se ajudar mutuamente em caso de emergência.

### Ao se refugiar :

- desligue disjuntor de energia elétrica (p/ evitar incêndios)
- vá ao abrigo a pé
- use uma roupa confortável
- leve apenas objetos de uso pessoal necessários
- lembre-se de levar o celular e recarregador

# Programação de Eventos:



## English Ochakai In Wonderland II

Dia 18 de Junho, 2011

Venha para um chazinho no país das maravilhas no País das Maravilhas! Estamos preparando Jogos Brincadeiras e muita diversão para nossos convidados.

\*\*\*\*\*

Data: 18 de Junho, 2011. (sáb)

Horário: 13:00h ~ 16:30h

Vagas: 60 pessoas

(evento será realizado em Inglês)

Local: Centro Internacional de Yamanashi

Taxa: 500 ienes

※ Pedimos a gentileza fazer inscrição com antecedência

# Gambarou Nippon

From Yamanashi

Realizado no dia 30 de Abril, este evento beneficente para arrecadar fundos para ajudar a região atingida pelo terremoto de 11 de março, contou com a presença de 234 pessoas e a colaboração de associações, restaurantes, artistas e muitas outras pessoas. Nossos mais sinceros agradecimentos a todos os que participaram e colaboraram, pois este evento só deu certo graças a ajuda de todos.

Veja mais detalhes no site : [http://www.yia.or.jp/pdf/gambarou\\_nippon.pdf](http://www.yia.or.jp/pdf/gambarou_nippon.pdf)



### Doação

Foi arrecadado um total de 402.835 ienes que serão doados para a Cruz Vermelha do Japão.

## Cozinha Internacional

### Receita Shepherd's Pie

Ingrediente p/ 4 pessoas:

#### Purê de batata

- 6 batatas
- 30ml leite
- 1/2 colher (sopa) de manteiga
- sal e pimenta a gosto

#### Recheio

- 1/2 colher (sopa) de manteiga
- 450g carne moída
- 1 cebola picada
- 1/2 talo de aipo picado
- 2 dentes de alho
- 150g mix vegetal (milho, cenoura, ervilha congelados)
- 1/2 copo de caldo de carne
- 1 colher (chá) tomilho ou thymus
- cravo em pó a gosto
- molho inglês e mostarda a gosto
- sal e pimenta a gosto (se quiser acrescentar vinho tinto)



"Shepherd's Pie", bastante apreciado no Canadá, é originalmente um prato típico da Inglaterra, feito com o recheio no fundo que é coberto por purê de batata e levado ao forno para dourar. Dizem ter sido muito apreciado pelos atarefados criadores de ovelhas (shepherd) por ser um prato simples e nutritivo. Como o nome indica, antigamente era feito a base de carne de ovinos, mas hoje é comum usar carne bovina. Formalmente, quando se usa carne bovina o nome muda para "Cottage Pie"

#### Mandy Jiaman Lin

Nossa Chefe de cozinha desta edição é Mandy Jiaman Lin. Nasceu na China e imigrou para o Canadá aos 12 anos. Veio ao Japão em dezembro de 2008. Trabalha como CIR (coordenador para assuntos internacionais) fazendo traduções, interpretações, visitas as escolas entre outras atividades. Seus hobbies são viajar e tirar fotos. Estará retornando para o Canadá em agosto.



#### modo de fazer:

- Em uma panela coloque água suficiente para cobrir as batatas e um pouco de sal e cozinhe até ficar macio. (teste com um palito ou garfo). Descasque e amasse dentro de uma vasilha. Acrescente a manteiga, leite, sal, pimenta e misture até se tornar uma massa lisa. Reserve
- Em uma frigideira coloque a manteiga e refogue a cebola picada até ficar macio. Acrescente o alho e refogue por mais 3 min. Acrescente a carne moída e refogue até

- dourar. Acrescente o mix de vegetais, aipo, sal, pimenta e cravo.
- Refoque em fogo alto até os legumes ficarem macios, então acrescente o caldo, molho inglês, mostarda e se quiser vinho tinto. Quando começar a ferver diminua o fogo e se necessário acrescente sal e pimenta. Cubra com uma tampa e deixe cozinhando por cerca de 15 min. ou até "secar" o recheio. Em uma assadeira coloque o recheio no fundo e cubra com o purê. Leve para assar em forno a 200~220°C por 8 a 10 min. até dourar. Corte e sirva.

## Kit de Emergência (itens básicos)

#### Valor • Documentos

- Cartões pessoais
- Dinheiro
- Cópia da carteira de habilitação
- Cópia do cartão de seguro social
- Inkan
- Passaporte

#### Alimentos

- Água mineral
- Bolachas/ Barras de cereais
- Enlatados
- Alimentos não perecíveis

#### Objetos úteis

- Rádio e pilhas
- Lanterna e pilhas
- Vela/ isqueiro
- Luvas
- Capa de Chuva
- Corda
- Máscara
- Coberta térmica
- Sacos plásticos
- Filme plástico
- Apito
- Abridor de lata
- Caneta
- Pratos e talheres descartáveis

#### Papel laminado

#### Medicamentos

- Remédios de uso pessoal
- Esparadrapo
- Pomada
- Gaze
- Antisséptico

#### Uso pessoal

- Roupas íntimas
- Toalhas
- Chinelo
- Lenço de papel
- Absorventes

## Provisões para deixar em casa (itens básicos)

- Água Potável \*
- Alimentos \*
- Pratos e talheres descartáveis
- Cobertores
- Toalhas
- Caixa de Isopor
- Fogão de Mesa
- Aquecedor pessoal descartável
- Cordas
- Fita adesiva

- \* Mantimentos suficiente para 3 dias.
- \* Alimentos: embalados a vácuo, enlatados e não perecíveis.
- \* Lembre-se você não encontrará comida de seu país nos abrigos. Se achar necessário faça um estoque em casa. (ex. lata de feijão, picles, carne seca, etc)

⇌ recorte e use para montar seu kit

## Curso de Japonês em Ichikawa Misato

O curso é voltado para estrangeiros residentes em Yamanashi que querem estudar japonês para uso cotidiano.

As aulas são apropriadas para pais e filhos aprenderem juntos a língua japonesa.

\*\*\*\* Curso Grátis \*\*\*\*

Data: Aos sábados, das 14 às 16h.

(exceto final do ano e mês de agosto)

Local: Ichikawa Misato-cho, Chomin Kaikan

Professor(a) : Kaori Yamazaki

Colaboração: Grupo de apoio a sociedade multicultural "Heart 51"

## Aulas gratuitas de japonês para estrangeiros

Aulas de japonês para estrangeiros residentes na província de Yamanashi .

Data: às sextas-feiras

Horário: das 19.00 às 21.00h

Local: Centro Internacional de Yamanashi ( Kofu-shi, lida, 2-2-3 )

Informações pelo telefone: 055-228-5419

## Consultas e aconselhamentos jurídicos gratuitos

Serviços de consulta e aconselhamento sobre assuntos jurídicos ou diversos gratuito para estrangeiros residentes em Yamanashi .

Consultas: Primeira quarta-feira de cada mês. das 18.30h às 21.00h

Terceiro domingo de cada mês. das 13.00h às 16.00h

Local: Centro Internacional de Yamanashi (Kofu-shi, lida, 2-2-3)

Informações pelo telefone: 055-228-5419

\*\*\* Agendar as consultas \*\*\*

## Emergency Response Procedures - Part 1

### 1. Prior to an Emergency

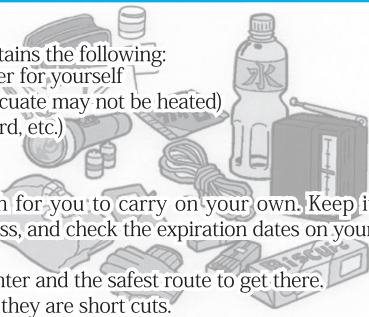
I. Prepare an emergency pack that contains the following:

- Three days worth of food and water for yourself
- Warm clothing (wherever you evacuate may not be heated)
- ID (passport, Alien Registration Card, etc.)
- Cash
- Any medications you may need.

\*Your pack should be light enough for you to carry on your own. Keep it stowed somewhere that is easy to access, and check the expiration dates on your food/water regularly.

II. Confirm your nearest evacuation center and the safest route to get there.

- avoid routes that are risky, even if they are short cuts.
- Write down the name of your evacuation center in Japanese and English.



### 2. During an Emergency

I. Turn off your gas valves or any open flames.

II. If you are at home, prop open a window or door that you can escape from, as the frame may shift during an earthquake, trapping you inside.

III. Hide under a solid, stable object like a desk or table while the shaking lasts.

IV. Stay away from any objects that may topple over, glass windows, tall buildings, etc.

V. Follow any instructions from local authorities.

VI. If need be, evacuate to your nearest evacuation center (typically a school, community center, city hall, etc.) with your emergency pack.

VII. Emergency packs should include at least three days worth of food/water for yourself (rescue may not come for 3 days or more, depending on the extent of the damage), warm clothing (shelters may not be heated), any medications you need, ID, and some cash.

### 3. After an Emergency

I. Contact your workplace as soon as you are safe.

II. Notify your country's embassy of your location/situation.

III. If you have been evacuated to a center, please follow all staff instructions.

a. Space and resources are very limited in an evacuation center, be aware that although the management will try to distribute things equally, but things may vary depending on the number of people needing assistance and their condition.

b. Some evacuation centers will have a landline phone or communication tools, but use is often limited and connections unstable. Please be patient and considerate of other evacuees. If you need to make an international call, explain that to a staff member, as international calls may not be set-up or possible in the time limits set by the evacuation center.

c. If you are injured or ill, do not hesitate to seek medical attention, but be aware that there may be many people in need of care as well.

d. Some evacuation centers are not originally established locations, but are set up, de facto, after overcrowding occurs at other evacuation centers. These locations are often less prepared in terms of services/food/water, etc. that they can offer. Be aware that aid may also be delayed for several days or more depending on road damage and traffic conditions.

e. Living in an evacuation center for any length of time is very stressful and can often lead to tensions between evacuees. Remember that everyone there is facing difficulties, and try to resolve any differences peaceably. If you need to speak to somebody, do not hesitate to call the resources listed below under consultation services.

Part 2 on the next newsletter

## VOICE from Yamanashi - THAI RESTAURANT LOTUS OWNER AOYAMA JENNY

Ms. Jenny is a sociable and cheerful person, always smiling. Many members of the Thai community come to Jenny's place for advice when they have problems. After the earthquake, she and her eldest daughter Naana have been doing Thai translation of the planned power outage, and she has been visiting restaurants and grocery stores where the Thai community gathers, in order to provide information as quickly as possible.



■ When you came to Japan thirty years ago, was there anything that caused you trouble and gave you a hard time?

- Jenny: The language I guess. It was particularly hard when I got sick. But, maybe thanks to my optimistic personality, I've never felt discrimination.

■ Did you encounter any culture shock?

- J: I was surprised by the good manners of Japanese people. They are punctual, they don't complain when pushed in a crowded train. I think they are the most patient and persevering people in the world.

■ What lead you to open your own Thai restaurant, "Lotus"?

- J: Since I was a child, I learned how to cook from my mother, and came naturally to appreciate

cooking. Seeing people enjoying my dishes is what makes me happy.

■ On March 11, the Great East Japan Earthquake struck and some parts of Iwate and Miyagi prefecture have been severely damaged. Many people found refuge in Yamanashi.

- J: It was the first time I experienced such a big earthquake. When

I saw the images of the Tsunami I was shocked and cried from fear.

■ With the leakage of radioactivity, many foreigners left Japan. Japan's future seems unstable.

- J: I think that reconstruction will take time. My restaurant's activity also slowed down. But I am convinced that Japan will recover. As I am concerned, I intend to stay in Japan all my life.

■ How did the media in Thailand cover the disaster?

- J: No matter how big the disaster was, people in the shelters are following the rules. What's more, Japanese people are well trained to react in case of disaster. For that reason, the medias holds Japan in high esteem.

■ Thank you very much for setting up a food stall at the charity event "Ganbarou Nippon from Yamanashi", for the reconstruction after the disaster.

- J: I was also hoping I could do something for the refugees hosted in Yamanashi. I asked the International Association for advice, and it's how I ended participating to this event, which I'm very happy about. Foreigners, just like Japanese people, are showing their support to the victims of this disaster.

■ Do you sometimes go back to Thailand, your home country?

- J: I go back home every year to see my parents. Thailand is a Buddhist country where filial piety is natural. The 13th of April is the New Year in Thailand, and the occasion for families to get together.

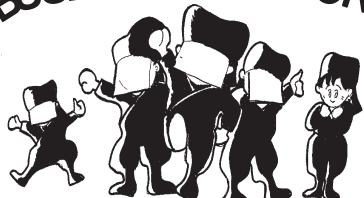
■ What are the similarities between people from Thailand and Japan?

- J: The fact that they both respect the seniors. Also, the fact that relations with neighbors are decreasing. People in Thailand have also a very busy life nowadays.

■ Do you have any advice for the foreigners living in Yamanashi?

- J: Not only in Japan, but also in any country it's important to be responsible. What's more, one must acquire the strength to live. I don't think it's a good thing to always rely on people volunteering.

## ビジネスサポート BUSINESS SUPPORT



こんな時は私たちにご相談ください！！

ビザの延長や変更の手続きは？国際結婚の手続きは？永住／帰化の手続きは？

Consult us about...

- renewal VISA • changing of status of residence • an international marriage
- naturalization • permanent residence

We are helping for foreigners to apply for all kind of VASA.

ビジネスサポート行政書士事務所（申請取次行政書士 藤原 進）

〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居 1666 TEL:055-233-0211

営業時間 08:30~18:30（土、日、祝日は休業）

山梨県で活躍している外国の皆さんを紹介するコーナーです。

## 第4回 タイ家庭料理「ロータス」代表 青山ジェニー



Jenny Aoyama

### 青山ジェニー

1961年、タイ王国ガンベンベツ生まれ。30年ほど前、結婚を機に来日。2003年9月、昭和町にタイ家庭料理「ロータス」をオープン。その傍ら山梨に住むタイの人々の相談役、生活のアドバイザーとして活躍中。年に数回、甲府市の羽黒小学校や城南中学校等でタイ文化紹介を行っている。趣味はゴルフ、水泳。現在、昭和町在住。

ジェニーさんは、気さくで明るく、いつも笑顔が絶えない女性。困ったことや悩みごとがあると真っ先にジェニーさんのところに駆けつけ、相談するタイ人が多いそうです。

震災後の計画停電では、長女の奈亜奈さんと一緒にタイ語の翻訳作業に加えて、直接タイの人々が集まるレストランや食材店等を回り、情報をいち早く届けていました。

■ 30年ほど前に来日し、最初に困ったことや辛かったことは？

J: やはり、「ことば」。病気になった時、特に辛かったです。でもこの楽天的な性格のせいか、差別されたことはないんですよ。

■ カルチャーショックはありましたか？

J: 日本人のマナーの良さには本当に驚きました。時間をきちんと守る、満員電車で押し込まれても文句は言わない、その我慢強さは世界一だと思えます。

■ タイ家庭料理「ロータス」をオープンさせたきっかけは？

J: 小さな頃から母に料理を教えられて、自然と料理が好きになりました。私が作った料理をおいそうな顔をして食べてもらえる、それが私の幸せなんです。

■ 3/11 東日本大震災が発生し、岩手、宮城県の一部の地域は壊滅的な被害を受けました。山梨にも多くの方が避難されています。

J: 初めて体験した大震災でした。津波の映像をみてショックを受け、とても怖くて涙がでました。

■ 原発漏れの影響で、多くの外国の皆さんが日本を離れました。日本の将来を不安視しています。

J: 復興には時間がかかると思っています。私のお店も暇になりました。でも日本はきっと立ち直ると思えます。私自身は、ずっと日本で暮らして行くつもりですから。

■ 今回の震災に関して、故郷タイではどのように報道されているのですか？

J: あれだけの大きな震災にも関わらず、皆、避難所ではルールを守っている。また、災害に対してきちんと訓練されていると、多くのメディアは高く評価しています。

■ 4/30 震災復興チャリティ・イベント「がんばろう日本 from やまなし」では、タイ料理で出店いただき、ありがとうございました。

J: 私も山梨に避難している人たちに何かしたいとずっと考えていました。国際交流協会に相談し、今回参加させてもらって本当によかったです。外国の人たちも日本人同様、被災した皆さんを応援しているんです。

■ 故郷タイには里帰りしていますか？

J: 両親に会うため、毎年里帰りしています。タイは仏教の国、親孝行は当たり前です。4月13日はタイのお正月、家族みんなが集まります。

■ タイ人と日本人の共通点は？

J: 目上の人たちを大切にすること。昔に比べて近所のおつきあいが減っているところ。タイの人たちも忙しい毎日を送るようになりました。

■ 山梨に住む外国人住民にアドバイスをお願いします。

J: 日本に限らず、どこかの国に行っても「責任」を持つこと。そして、「生きる力」を身につけること。当たり前のようにボランティアの人たちに頼るのはどうかと思います。

山梨の自然、特に美しい富士山が大好きなジェニーさん。忙しくてなかなか実現できないけれど、夢でもある富士山には、是非登りたいと話していました。

今日も悩みを抱えるタイ人を叱咤激励しながら、多文化共生、共に生きることの大切さを伝えています。

## クッキング@ホーム

### SHEPHERD'S PIE



マンディ・ジアマン・リンさんは、中国・広東省生まれ。12歳の時にカナダトロントへ移住。2008年12月に来日し、国際交流員として山梨県庁観光部国際交流課勤務。翻訳、通訳、学校訪問、外国誌の発行、国際交流協会の外国文化講座講師等、多忙な毎日を送っています。趣味は写真を撮ること、アートデザイン、旅行。2011年8月、帰国予定。

### 「シェパード・パイ」(カナダ家庭料理)

#### 材 料 (約4人分)

- ★マッシュポテト・トッピング  
じゃがいも (皮をむき、4等分) ..... 6個  
牛乳 (濃厚タイプ) ..... 30ml  
バター ..... 大さじ1/2  
塩、こしょう ..... 適量
- ★フィリング  
バター ..... 大さじ1/2  
合挽き肉 ..... 450g  
玉ねぎ (みじん切り) ..... 1個  
セロリ (細の目切り) ..... 1/2本  
にんにく (みじん切り) ..... 1片  
ミックスベジタブル ..... 150g  
ブイヨン ..... 1/2cup  
タイム (生またはドライ) ..... 小さじ1  
クローブ (パウダー) ..... 適量  
ウスターソース、ディジョンマスタード ..... 適量  
好みで赤ワイン、粗塩、挽いた黒こしょう 適量



- ポイント！
- フィリングは、水分がなくなるまでよく煮詰める。
  - マッシュポテトの表面をこんがり焼く。

### 作り方

- マッシュポテト・トッピング ジャガイモが隠れるぐらいの水を入れ、塩 (適量) を加え沸騰させる。火を弱めふたをし、竹串がすっと通るまでゆでる。手早くボールにうつし、じゃがいもをつぶす。バター、牛乳、塩、こしょうをし、滑らかになるまでかき混ぜる。
- フライパンにバターを入れ、中火にかける。みじん切りにした玉ねぎを入れ、しんなりするまで炒める。にんにくを入れ、約3分ほど炒める。合挽き肉を加えて色が変わるまで炒め、ミックスベジタブル、セロリを入れ、塩、こしょう、クローブを入れる。
- 野菜が柔らかくなるまで強火で炒め、ブイヨン、ウスターソース、ディジョンマスタードの順に加える。(お好みで赤ワインも)
- 煮立ったら、弱火にし、塩、こしょうで味を整え、ふたをして水分がなくなるまで15分ほど煮詰める。
- フィリングを耐熱皿に敷き詰め、マッシュポテトを上に乗せ、200～220℃のオーブンでポテトの表面が黄金色になるまで8～10分ほど焼く。適当な大きさに切り分け、お好みでパセリを振りかけて、でき上がり！

伝えたいをカタチにする一滴

<http://www.ozp.jp>

出版印刷 紙工  
有限会社 オズプリンティング  
055-235-6010(代)

〒400-0032 甲府市中央3丁目8-10 FAX:055-232-4098 E-mail: info@ozp.jp

# nformation

## 財団法人山梨県国際交流協会

### 「設立 20 周年 感謝の集い」

4月26日、甲府富士屋ホテルにて「財団法人山梨県国際交流協会 設立 20 周年 感謝の集い」を開催し、60名の皆さまにご出席いただきました。

永きに渡り、当協会のさまざまな活動を支え、協力をいただいていた功労者の方々(役員5名、団体1、個人4名)には、感謝状を贈らせていただきました。

- ★ 役員 三村 賢治氏 吉田 寿々子氏 李 榮求氏  
大澤 英二氏 後藤 浩子氏
- ★ 団体 国際ソロプチミスト山梨(会長 田辺 文子氏)
- ★ 個人 長田 源夫氏 窪田 全子氏 荻野 元幸氏  
松本 公夫氏

昼食会の後は、県内外で活躍し、フランスにも活躍の場を広げているミュージシャンの小野英明さんと音楽を通してカンボジアで学校建設や交流活動等に力を注いでいる岩崎けんいちさんの心温まるライブをお楽しみいただきました。

これからも「発信し、行動する」協会を目指して、10年先、20年先を見据えた質の高い事業の展開を積極的に図っていきます。

どうぞよろしくお願いたします。



はじめまして

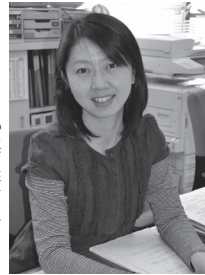
国際交流協会の新メンバーをご紹介します！  
事務局長 山田 幸子(さちこ)さん、臨時職員 小澤 美和子さんが新メンバーに加わりました。どうぞよろしくお願いたします。

事務局長  
山田 幸子



Sachiko Yamada

職員  
小澤 美和子



Miwako Ozawa

# がんばろう 日本 from やまなし

ご協力ありがとうございました！

4月30日に開催いたしました「がんばろう日本 from やまなし」では、ワールド・グルメ、音楽&パフォーマンス他、イラスト画チャリティオークションやタイ式マッサージ、「がんばろう日本 from やまなし」のマグネット、飲物等のご提供等、多くの皆さまにご支援、ご協力をいただきました。心から御礼申し上げます。

ご協力いただいた個人・団体の皆さま

タイ料理「ロータス」 多文化共生を考える会「ハート51」 山梨県中国語・国際交流会 山梨台湾総会 台湾原住民陽光舞踊団 ベイッド・ジェイシリー アメリカ・サンギータ ジェン・アシヤ (有) アズサ韓サラン 日中交流情報センター 北インド料理「スーリヤ」 災害・防災ボランティア未来会 (株) 日新宣伝用品社 甲府住宅設備(株) (有) オズプリンティング 大島宗一郎 小野英明 岩崎けんいち

血液型 不詳

趣味 ● 読書 ● 旅(行ったことのない土地を訪ね、その地域を学ぶことが好きです) ● 野外活動 ● 短歌  
● ガールスカウト山梨1回リーダー、支部トレーナー  
● アフター北京 やまなし・女・心・からだトークメンバー(北京女性会議を出発点に山梨の女性が心身ともに自立して生きることを目指し活動している。)

抱負 本県の国際交流を推進するとともに、外国人住民にとって交流センターが拠り所となるよう努めたい。そのために、情報の発信、就労などの相談や、避難訓練などを行い、彼らにとっても暮らしやすい山梨になるよう力を尽くす。

血液型 O型

趣味 ● 旅行 ● 映画鑑賞 ● 美味しいモノを食べること

抱負

4月から1年間、YIAでお仕事をさせていただくことになりました。多くの方々とコミュニケーションを取りながら、楽しく国際交流・多文化共生の推進に繋がる仕事をしていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

## 国際交流センターをご利用下さい

国際交流センター会議室の貸し出しを行っています。  
<http://www.yia.or.jp/kaigishitu.html> (詳細はこちらへ)  
会議室使用料

	午前	午後	夜	全日	超過料金
	9:00a.m. } 12:00a.m.	1:00p.m. } 5:00p.m.	6:00p.m. } 9:00p.m.	9:00a.m. } 9:00p.m.	1時間 Per hour
大会議室 Large Conference Room	2,200円	3,310円	3,310円	8,830円	730円
小会議室 Meeting Room	720円	1,100円	1,100円	2,910円	240円

## 会員登録をありがとうございました！

個人会員 (入会順・敬称略)

2月～4月 17名

団体会員 (入会順・敬称略)

2月 北杜市国際交流委員会

3月 山梨県国際教育研究協議会 オイスカ山梨県支部

4月 山梨青年海外協力隊協会 中央市国際交流協会

(財) キーブ協会



# YIA Event Calendar

## 「外国人なんでも相談」

と き 第1水曜日 午後6時30分～9時  
第3日曜日 午後1時～4時  
ところ 県立国際交流センター  
相談員 法律専門家 上條 醇氏、金 亮完氏  
通 訳 林ジョニー氏  
言 語 ポルトガル語、スペイン語、英語、インドネシア語、日本語  
※ 必要に応じてその他の言語対応可  
費 用 無 料  
問合せ (財) 山梨県国際交流協会 tel.055-228-5419

## 「にほんご講座」

と き 毎週金曜日 午後7時～9時  
ところ 県立国際交流センター  
対 象 県内在住で日本語を勉強したい人  
問合せ (財) 山梨県国際交流協会 tel.055-228-5419

## 6月

### 国際サロン「English お茶会 inWonderland II」

英語のことは遊びゲームを楽しみましょう。ゲームのレベルはさまざまなので、中学生から大人まで楽しめます。英語上達には絶好の機会！ゲームの後は、お茶を楽しみながら交流を深めます。(すべて英語で行われますので、英検2、3級程度の英語力が必要です。)  
と き 6月18日(土) 午後1時～4時30分  
ところ 県立国際交流センター  
定 員 60名  
参加費 500円  
問合せ (財) 山梨県国際交流協会 tel.055-228-5419

### Free Legal Consultation for Foreigners - on Wednesdays and Sundays

**When:** Every first Wednesday night of the month. From 6:30 pm to 9 pm. and every third Sunday afternoon of the month. From 1 pm to 4 pm.  
**Where:** Yamanashi International Centre.  
**Consultant:** Johnny Hayashi.  
The consultation is available in English, Indonesian, Portuguese, Spanish and Japanese. The service is FREE OF CHARGE.  
\* Mr. Hayashi is accompanied by other legal professionals.

### Japanese Language Class

**Time:** Every Friday night, 19:00~21:00  
**Location:** Yamanashi International Centre.  
The class is for foreign residents in Yamanashi and is FREE OF CHARGE.

## June

### International Salon "English Tea Party in Wonderland II"

Let's play English language games together! This is a wonderful opportunity to practice and improve your English language skills. All levels are welcome, so everyone can enjoy. At the end of the day, everybody will deepen friendships while enjoying cookies and tea!

The International centre is open daily from 9:00am to 9:00pm except on Mondays and on the day following a national holiday.

URL [www.yia.or.jp](http://www.yia.or.jp)

MAIL [webmaster@yia.or.jp](mailto:webmaster@yia.or.jp)

Join us with your friends!  
**Time:** Saturday, June 18th. 13:00~16:30  
**Location:** Yamanashi International Centre  
**Entrance fee:** 500 Yen  
**Capacity:** 60 people  
**Inquiry & Application:** Yamanashi International Association - Tel: 055-228-5419

### Consultas e aconselhamentos jurídicos gratuitos às quartas-feiras e aos domingos.

(com reservas antecipadas)  
**As quartas-feiras:** toda primeira quarta-feira do mês. Das 18h30 às 21h.  
**Aos domingos:** todo terceiro domingo do mês. Das 13h às 16h.  
**Local:** Yamanashi International Center (Kofu-shi, lida 2-2-3)  
**Advogado:** Atsushi Kamijo / Yang whan Kim (Professores de direito da Universidade Yamanashi Gakuin)  
**Intérprete:** Johnny Hayashi (Português, espanhol, bahasa, inglês e japonês).  
\*Dependendo da necessidade do consultente, providenciaremos intérpretes para outros idiomas na medida do possível.

### Aulas gratuitas de japonês

**Data:** todas as sextas-feiras, das 19 às 21h.  
**Local:** Centro Internacional de Yamanashi  
**Público-alvo:** todos os estrangeiros residentes na província e que tenham interesse em aprender o idioma japonês. O curso é gratuito.

## Junho

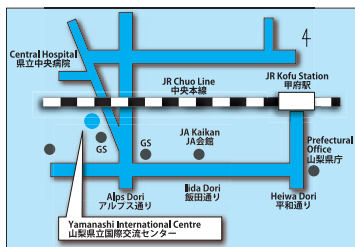
### English Ochakai in Wonderland II

Estamos preparando jogos, brincadeiras e muita diversão. Venha se divertir e praticar inglês conosco neste "chazinho" no País das Maravilhas!  
**Data:** 18 de Junho, 2011. (sáb), das 13:00h~16:30h  
**Local:** Centro Internacional de Yamanashi  
**Vagas:** 60 pessoas  
**Taxa:** 500 iênes (Evento realizado em inglês)  
\*Pedimos a gentileza fazer inscrição com antecedência

Inscrição: Tel: 055-228-5419 / Fax: 055-228-5473/ e-mail: [yiaevent@gmail.com](mailto:yiaevent@gmail.com)



がんばろう  
日本 from yamashi



## 編集後記

震災後、多くの人たちが「自分にできること」を考えています。それは、日本人だけでなく、日本に住んでいる外国の皆さんも同じ。  
4/30「がんばろう日本 from yamashi」では、そんな一人ひとりの心意気が、大きな、大きなパワーとなりました。  
「ここでタイ料理を食べられるとは思わなかった、ありがとう」。福島から避難している女性の一言に、笑顔で応えるジェニーさん。日本は大丈夫、国境や文化を越え、互いに助け合う心であふれる。  
「がんばろう日本 from yamashi」に関われたことに心から感謝しながら、被災された方々が一日も早く以前の生活に戻れますよう、ただただお祈りするばかりです。  
雨宮

Já se passaram várias semanas depois do terremoto de 11 de março. Sinceras condolências para todas as vítimas, suas famílias e amigos. Os tremores que atingiram a província de Yamanashi foram mais que o suficiente para assustar. Percebemos a importância de nos prevenir para estes desastres naturais que podem acontecer a qualquer momento. Como dizem na terrinha, "melhor prevenir do que remediar". Mas nada de se trancar em casa e deixar o baixo astral se espalhar. O verão está chegando com os festivais, fogos de artifício e yukatas (vestimentas japonesas). Pensamento positivo para que o Japão dê a volta por cima. ♪

**Cristina**

For this edition's editor's note, I would just like to express my feelings of solidarity with the people in Tohoku and all over Japan. There is no doubt that this tragedy shocked everyone in the world, particularly foreigners living in Japan. However, I believe in this great country that has been so good to me until now, and I know that Japan is going to overcome these dark times!

**Victor**

## Yamanashi

2011年6月・7月・8月号

- 発行 財団法人山梨県国際交流協会
- 編集 雨宮由里恵 真砂クリスティーナ  
ヴィクトール・バルザン
- イラスト 岩崎けんいち 松岡瑠理子
- Published by  
Yamanashi International Association
- Edited by  
Yurie Amemiya Cristina Masago Victor Balsan
- Illustrated by  
kenichi Iwasaki  
Ruriko Matsuoka

〒400-0035 甲府市飯田2-2-3  
tel 055-228-5419 fax 055-228-5473  
2-2-3 lida, Kofu-Shi, Yamanashi-ken,  
Japan 400-0035